

かわらばん 妻入り

事務局
新潟県出雲崎町
教育委員会
☎0258-78-2250
FAX 78-4559

良寛没後百八十年記念 良寛・耐雪・御風特別展 開催!

去る6月10日(木)から20日(日)まで、良寛の没後180年を記念して、「良寛・耐雪・御風特別展」が開催されました。

良寛記念館や心月輪、佐藤耐雪邸、妻入り会館など全8会場にて、これまで展示の機会が少なかった良寛の遺墨をはじめ、良寛の遺徳を世に広めた当町の良寛研究家・郷土史研究者である佐藤吉太郎(俳号耐雪)、及び出雲崎の人々とも深く交流された良寛研究家・相

馬御風の遺墨など合計100点以上が展示され、町内外から多くの方が来場されました。

また、今回の特別展に合わせて、10日(木)には相馬御風記念館の金子善八郎氏、19日(土)には全国良寛会参与の反町タカ子氏の記念講演が行われ、心月輪にて盛大に開催されました。

今回の特別展を見学した出雲崎小学校児童の感想を紹介します。

良寛・耐雪・御風特別展を見て



良寛・耐雪・御風特別展を見て
出小 5年 市川 和

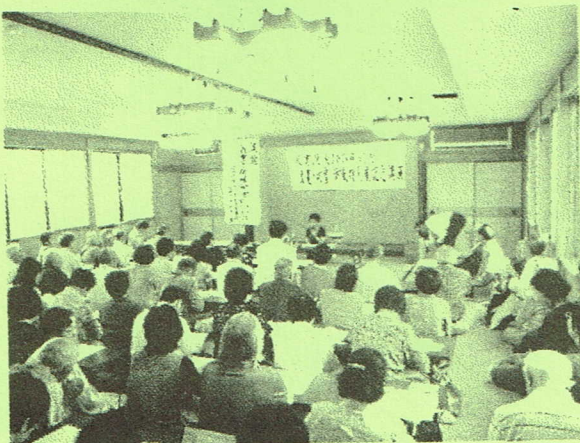
私は、小さいころから良寛さんのことをよく知っていると自分で思っていました。でも今回記念館に行ってみたら、私の知らないこともたくさんあって、びっくりしました。私は小さいころから「月のうさぎ」のお話が好きなので、「月のうさぎ」のことをもっとよく知っておきたいと思いました。

耐雪邸を見学して

出小 5年 間瀬 豊紀

ぼくは、耐雪が出雲崎に住んでいた事に驚きました。特に、イギリスからたった3台だけ県内に入ってきたコースターという自転車をお父さんにねだって買ってもらい、その自転車一人で青森まで行ったなんて驚きました。

出雲崎にこんなすごい人がいてうれしいです。ぼくもがんばろうという気持ちになりました。



街並みに想う

出雲崎中学校

教頭 小方 貴美子

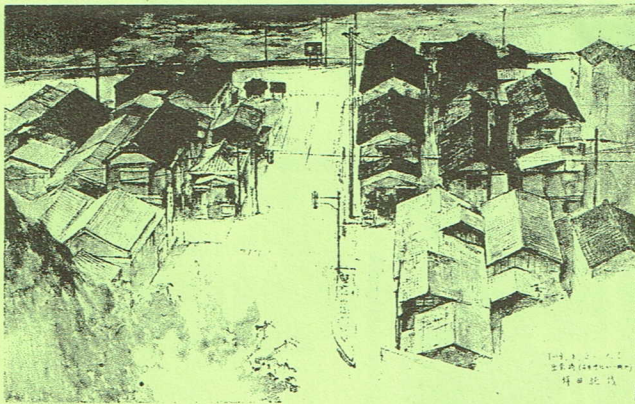
三月二十九日に、出雲崎中学校に事務引継に来ました。その日は随分風の強い日で海も荒れていました。ここで生活することの厳しさを思いました。

四月一日に赴任し、挨拶回りで出雲崎の町を巡りました。石井町の坂道から海を望みながら、私の幼い頃と変わらない街並みに懐かしさを感じていました。

江戸時代には徳川幕府の直轄地（天領）となり、佐渡金銀の陸揚げ港として、北前船の発着の港として栄え、また、北国街道の宿場町として、この地方一帯の政治・経済・交通・文化の中心となっていたそうです。江戸時代の出雲崎町は、越後で一番人口密度が高かったそうです。現在は、そのどこまでも続く街並みに往時の賑わいを感じるのはみですが、様々な人が行き交い、さまざまなものが渦巻

ていたことでしょう。

「天領の里」からこの街並みを歩いたことがあります。山側には何か所も石段が設けられており、山の中腹の寺社へ通じています。ゆっくりと時間が流れていくのを感じます。観光客目当ての建物が少ないこともそう感じる理由の一つかもしれません。山と海に挟まれた狭い土地に数多くの家が建ち、ごく普通に生活が営まれているのです。決してそれは現代の生活形



態からいえば便利なものではないと思われるのです。しかし、そこには私たちが本来生活していく上で大切にしなければならぬものがあるように思えます。

この歴史と伝統に培われた出雲崎で働けることをとても幸せに思っています。子どもたちが将来住みたいと思う出雲崎町であるために、どういう町づくりをしていったらさらに魅力的な町になるのか私も一緒に考えていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

縁側の魅力

出雲崎小学校

教頭 井澤 弘子

幼いころ過ごした家には、縁側があった。夏は、そこに祖父母が座り、庭の花を眺めたり、道行く人と会話したりした。花火をせがみ、家族が涼んだ場所でもあった。冬は、そこが日だまりとなつて、シクラメンなど色とりどりの花が並んでいた。



縁側で撮った写真も多い。衾巻きをし、何枚も着物を重ね着した祖母のひざには、まだ幼い弟が乗っている。私はといえば、兄とけんかしたあとで泣いているところとか、七五三の着物を着てはにかんでいるところとか、いろいろな写真が残っている。そのときどきの家族の姿が、縁側を舞台に映されていくらしい。

縁側は、家族や近所の人が集ま

り、交流する場所だったのだ。

気が付くと、今私が住む家にも、父母が暮らす家にも、縁側がない。縁側で家族とともにゆったりと過ごした時間は、遠い思い出となっていた。

出雲崎大祭の夜、妻入りの街並をゆっくりと歩いた。昭和の思い出のする空間だった。

道に面した窓を開け、近所の人々が縁側に集まっている家があった。路を歩く私にも、お茶うけの中味が見える、人と人との距離の近さが新鮮だった。思わず声をかけた私に、返ってきた言葉にさらに驚いた。

「お茶でも飲んでいかんかね。」
見ず知らずの私に、お茶を招き入れる、人とかかわり方。度量の大きさ。寛容さ。これこそ、縁側の魅力だと思った。忘れていた子どものころの思い出がよみがえってきた。

出雲崎の皆さんは、妻入りの街並と、街並に宿る人と人との触れ

合いを大切にされている。妻入りの心とむ空間を歩きながら、私もその輪に入れていただきたいと願ったひとときだった。

妻入りの街 (三十九)

住吉町 磯野 猛

人物往来 佐藤 耐雪(三)

六月十日より二十日まで「良寛・耐雪・御風展」が良寛記念館の主催で開催されました。

展示会場も良寛記念館と心月輪の外、街並みの中に八会場を設け、それぞれ作品や資料の公開をいたしました。これは町外の方たちからも良寛さまの生まれた町を歩いていた良かったからです。江戸時代の初期から直轄領(天領)としての歴史をもつ出雲崎町と良寛さまの生まれた街並を、良寛・耐雪・御風の作品と資料を見ながら歩いてもらうための展示でした。

丁度六月の大祭と重なり多勢の方々から街並を散策していただきました。妻入り会館も多くの方が

立寄られたようです。

耐雪邸の開放は五日間だけでしたが訪れた方々から改めて良寛さまと耐雪さんのかかわりを知っていただいたようです。

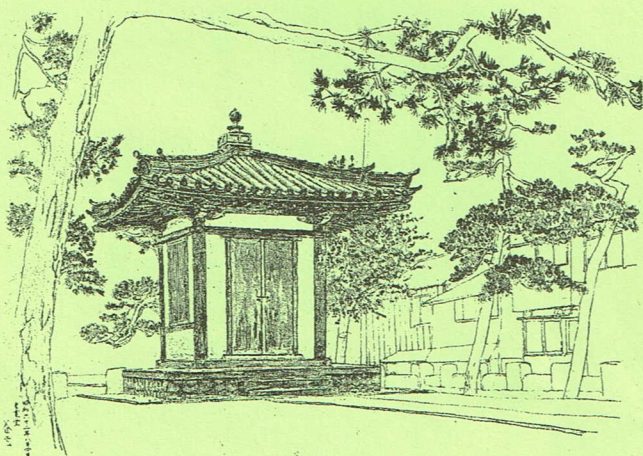
またこの期間六月十日と十九日の二回、相馬御風記念館から金子善八郎先生と耐雪さんゆかりの反町タカ子先生から御講演をしていただき、多くの来場の方たちに深い感銘を与えられました。私たちの知らない話も多く改めて「良寛・耐雪・御風」の認識を深めることができました。会場も満杯で心配されましたが話を聞けなかった方たちも資料をお配りしてご了承をいただきました。

初めて出雲崎の街並を歩いたという方々からの感想も多く寄せられ、特に耐雪さんのことを初めて知ったという人も多かったようです。

江戸時代の初期から「天領」として栄えた町と良寛さまの生まれた出雲崎を現代につなげられた耐

雪さんや御風さんに親しみを覚えずにはいられません。

もう一度私たちの町を振り返って見ることも大切さも感じました。そしてまた機会があればこのような催しを是非やってみたいと思います。殊にこの行事には多くの妻入りの街並景観推進協議会のみなさんからもボランティアとして御協力をいただき、町及び町教育委員会からもバックアップをしていただきました。



出雲崎を訪れて感じたこと

奈良女子大学文学部3年

坂本 真麻

こんにちは、初めまして。奈良女子大学文学部3年の坂本真麻と申します。6月初めの3日間ほど出雲崎にお邪魔させていただきました。私が大学で専攻しているコースでは3年生になるとどこか地域を決めてフィールドワーク（野外調査実習）を行うという授業があるのですが、今年を対象地域が新潟県であり、縁あって私は出雲崎の妻入りの街並について調査をするということになったからです。出雲崎では、渡辺さんのお話を伺ったり、妻入り会館や天領の里の資料館で出雲崎の歴史について学んだり、実際に街並を歩きながら住民の皆さんにお話を聞かせていただいたりしました。

住民の皆さんにとつては、私は不審者だったかもしれません。今回のフィールドワークは、私自身初めてだったので慣れないことも

多く、なかなか話しかけることもできなかったことなど反省点の多いものになりました。しかしそんな中で、見ず知らずの私に気さくに話しかけてくださったたり、お家の中へ入れてくださったたり、ジュースをいただいたりと、出雲崎の方々の温かさに触れることができとても嬉しかったです。本当にありがとうございました。

妻入りの街並について、今回撮った写真を大学の友達などに見せると、皆口をそろえて素晴らしいと言ってくれます。でも街並の素晴らしさはもちろんですが、写真では伝わらない住民の皆さんの温かさもありました。しかし一方でやはり過疎化や高齢化が進んでいることも肌で感じられました。そこで、皆さんにはどうかこのまま、この素晴らしい町に誇りを持ち続け、地域一丸となって妻入りの街並を含めた町の良さを残していくってほしいと私は思います。

お知らせ！

屋号・家印の調査について

前回発行の「かわらばん妻入り」第38号でお知らせしましたが、今年度、妻入りの街並景観推進協議会の事業として、海岸地区の屋号・家印調査を実施します。

当協議会の会員を中心とした調査員が、海岸地区の各行政区ごとに調査を行います。調査期間は9月から10月末を予定しています。当協議会では、屋号・家印調査を正確かつ迅速に進めていくために、期間中は当協議会の会員以外の方からのご協力をいただきたいと思います。

この調査の結果を、「妻入りの街並」の景観保存・活性化のために活用していきたいと考えています。皆様からのご協力をよろしくお願いいたします。

あ と が き

今年も暑い夏が来ました。

体調を崩していませんか。冷房の効きすぎている部屋から急に外に出ると暑さに耐えられなく倒れることもありますので十分気を付けて下さい。冷房の温度設定は28度にしましょう。涼しくないようなら扇風機を併用するとかなり涼しくなります。昨年も書きましたが、寝苦しい夜にはゼリー状の氷枕をすると楽になります。

一つ教えてもらいたいことがあります。ミニトマトの皮が固くなるのですが、柔らかくするにはどのような様にすればいいのでしょうか。

余談になりますが、出雲崎高校の陸上、卓球、剣道がそろって全国大会に出場することになりました。このかわらばんが届く頃には終わっているかもしれませんが応援お願い致します。

そろそろビールが飲みたくなつたのでこれで終わります。

石井町 納谷 稔